



▼2月4日

モコゲームで聴覚疑似体験



NPO法人モコクラブによるワークショップ（モコゲーム）が行われました。モコゲームとは、声を出さない生活を体験することで、聴覚障害者への理解を深めるためのゲームです。生徒たちは、駅での切符購入やレストランでの注文など、さまざまな生活場面におけるコミュニケーションを身振り手振りで行い、相手の立場になることの大切さを実感していました。

▼1月27日

人権の花をプレゼント



古城幼稚園の園児 69 人は、松前町社会福祉協議会のデイサービスみどりを訪れ、ビオラやアリッサムを植えたプランターをプレゼントしました。この花は、互いに協力し合って花を育てることで、助け合うことを学んでもらう目的で、園児たちが4カ月の間、大切に育てた「人権の花」です。贈呈式では、4人の園児代表が元気にあいさつをし、8人の園児らが、利用者の代表にプランターを手渡しました。

▼2月7日

暴力団排除に伊予署と合意



松前町は、町が発注する物品の調達や役務の提供、その他の契約から暴力団関係者を排除するため、伊予警察署と合意書を締結しました。松前町役場で行われた調印式には、町と伊予警察署の関係者など5人が参加。白石勝也町長と山崎靖署長が合意書に署名、押印しました。今後、暴力団に関する積極的な情報交換を行い、関係が認められた業者には入札参加資格の停止を行うなどの処分を行うこととなります。

▼2月3日

鬼は外 福は内



日本の伝統行事について子どもたちに正しい知識を理解してもらおうと、松前幼稚園で節分の豆まきが行われました。

保護者と年長さんが扮するこわい鬼が登場すると、その迫力に泣き出す園児たちも。それでも豆を力一杯「鬼は外、福は内」と鬼に投げ、幼稚園にいる鬼と自分の心の中にある「泣き虫鬼」「いじわる鬼」などを追い出しました。